バンブー関連3社（BF・BM・BE）事業これまでの経緯

各社の役割

バンブーフロンティア（株）【BF】
孟宗竹を買い取り、表皮・解繊・チップに一次加工、杉バークなどの仕入

バンブーマテリアル（株）【BM】
竹チップ・バークを買い取り、構造材の開発、製造販売

バンブーエナジー（株）【BE】
竹、バークを活用したバイオマスにより発生する熱電気を供給

【事業の背景】

バンブー関連3社においては、南関町内に豊富に存在する孟宗竹をBFが買い取り加工し、BMが原材料として購入し構造材の製造、販売を行い工場内で必要となる熱、電気についてはBEがORC熱電併給設備を備えたバイオマスプラントで製造し賄う循環システムを確立され、それぞれが連携し事業展開を図るこれまでになかった先進的なビジネスモデルをベンチャー企業として立ち上げられました。

一方、町は、高齢化や後継者不足による竹林の荒廃が問題となっており、ある意味厄介者でもあった孟宗竹を活用することで、この問題も解決でき雇用の創出・農業者の所得向上にもつながることから、国の地方創生交付金を活用し竹買取り補助を行うとともに奨励金交付に関する町条例に基づき産業振興等奨励金の支払いを行いました。

【企業の動向／時系列】

①2011年8月～2012年7月
事業可能性の検証

②2014年6月
パーティクルボードの開発開始

③2014年10月
バンブーフロンティア構想書作成

④2015年7月
バンブーフロンティア（株）設立

⑤2015年10月
バンブーエナジー（株）設立

⑥2015年11月
バンブーマテリアル（株）設立

⑦2016年3月
熊本県庁の関係部署が連携し必要な支援を検討するキックオフミーティング開催

⑧2017年3月
バンブーフロンティア事業関連3社工場起工式（敷地面積4．3万㎡）

⑨2017年度より竹買取り補助を開始

⑩2018年2月
バンブーフロンティア（株）、バンブーマテリアル（株）工場竣工

⑪2019年8月
バンブーエナジー（株）バイオマスプラント竣工

※バンブー関連3社の総投資額55億円

⑫2019年6月
6月議会で産業振興等奨励金総額54，015，000円の補正予算可決

奨励金内訳
バンブーフロンティア（株）
8，310，000円
バンブーマテリアル（株）
45，705，000円

※6月議会で可決されたものの、奨励金の支払いについては工場の稼働状況を確認し議会の了承を得たうえでの支払いを条件とされたため、2019年7月18日に企業より議会全員協議会の場に出席され企業活動の現状報告が行われ、8月21日に議会全員協議会で工場視察後、採決が行われた結果、3議員の同意は得られなかったものの多数決の上支払うことに決定しました。

⑬2019年9月
上記記載の産業振興等奨励金を企業に対し支払い

⑭2020年度
バンブーエナジー（株）が竹とバークを燃料としたORC熱電併給設備によるバイオマスエネルギーの有効活用を評価され経済産業大臣賞受賞

⑮2021年3月
議会全員協議会において事業者より大幅な債務超過に陥り事業譲渡交渉を進めている旨の報告を受ける

⑯2021年4月
バンブーマテリアル（株）⇨（株）双葉運輸へ資産譲渡

※（株）双葉運輸とは、玉名市大浜に所在する輸送倉庫業を営まれている企業

⑰2021年8月
バンブーフロンティア（株）・バンブーエナジー（株）⇩モリショウグループホールディングスへ事業譲渡

※モリショウグループホールディングスとは、大分県日田市に所在する木屑中間処理、再資源化をはじめ木質バイオマス発電事業まで、一貫した木屑循環型システムを展開されている企業

⑱2021年10月
議会全員協議会の場に、モリショウグループホールディングス代表取締役が出席され、企業概要、今後の方針についての説明を受ける。

【最後に】

これまで記載しましたとおり10年ほどの企業活動の中で、住民の皆さんには大きな期待を抱かせながら、最終的には多大なるご心配をお掛けしたことと存じます。町としましても竹林の荒廃が問題となっている中、その解決に向けバンブー関連3社が連携し未利用資源である竹を活用する本事業には同じ悩みを持つ全国自治体のモデルとなるものと、大いに期待しておりました。企業も各関係機関等との連携、協力、支援のもと、鋭意努力されてこられたと思いますが、残念ながら思い描かれていた結果とはなりませんでした。しかし、バンブー関連3社がこれまで培われてこられた努力、実績なども評価され、工場が廃墟となることなく新たな企業へ引き継がれ、これまでの事業を継承される部分もございます。町としましても新事業者の事業活動が町の活性化に寄与されることを期待しますとともに、今後も引き続き町内立地企業との情報交換を密に行い、増設計画などへの対応も含め町としてできる限りの支援を行ってまいります。また、新規立地企業の誘致にも努め、町税収入の確保、雇用の創出を図ってまいりますので、ご理解とご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

南関町長　佐藤　安彦